

コード	501020106
記入日	H24.6.8

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	川田 成一

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	通園費補助事業
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	4
基本事業コード	50102	基本事業名称	幼児教育の充実	目コード	1
事務事業コード	5010201	事務事業名称	幼稚園管理事業費	細目コード	393
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町通学費補助金支給に関する要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 対象地区園児数		(対象指標1) 8人						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・休廃園となった園区の園児保護者に対し、通園費の補助を行い、遠距離通園の保護者負担の軽減を図った。		*****	*****	*****	補助金交付園児数÷ 補助金申請園児数	*****
				① (達成率分析)	8人	100%	補助申請のあった補助対象園児の保護者に対し、審査の上全員に補助金を交付した。	平成23年度
				② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				*****	*****	*****	補助金交付額÷ 補助金交付申請額	*****
				① (達成率分析)	521千円	100%	補助申請のあった補助対象園児の保護者全員に申請額の全額を交付した。	平成23年度
				② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	58	58	50	8	8				
	②									
成果指標	① 千円	1,469	1,469	948	521	521				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	6,369	6,369	5,148	1,221	1,221				
直接事業費 A	千円	1,469	1,469	948	521	521				
人件費 B	千円	4,900	4,900	4,200	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.7	0.6	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	6,369	6,369	5,148	1,221	1,221				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	休廃園した園区の園児の通園に要する保護者負担の軽減を図ることにより就園の機会均等に資するため。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	対象地区の園児の保護者にとって通園費用の負担軽減が図られ、通園費用が就園希望の妨げとなることを防ぐことができている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	補助金の交付を継続することで対象園区の園児の就園の機会均等に資する。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	必要最小限の補助額で遠距離通園園児の就園の機会均等に資することができている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理 由	補助交付額は、燃油価格の変動・特に上昇幅が大きい昨今の情勢では、軽減を図ることは困難。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	補助交付額については、燃油価格等島内物価情勢を注視しながら、より適正な交付額を随時検討する。

2 次 評 価	保護者の経済的負担の軽減や就園機会の均衡を図ることともに、経費の執行にあたっては適正に行うこと。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。